

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	うまいもんと地酒 信州 SOUL2022 復活、そして伝説へ…～
事業主体 (連絡先)	Sakefeti (サケフェチ) 長野県中野市中央1丁目10-4
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,725,195 円 (うち支援金: 1,547,000 円)

事業内容

日時2022年9月11日11:30～16:00
一般来場者1,001人 有料試飲401人
(前売り205人会場64人信州中野駅23人イープラス109枚) 売上84.55万円
コロナ禍の中ではあったが、中野市陣屋前広場公園で、開催し、市内外から多くの方の来場者があった。感染症対策のため、飲食エリアとテイクアウトエリアを分けて実施することにより、お酒の試飲と食事を楽しんでもらった。またイベント終了後も、各店舗への来客を増やすようにしていき、魅力の発信と地域の活性化に努めていった。長野電鉄の利用者数は過去最高の160人以上であり、遠方から集客が出来る事業となった。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①飲食エリアとテイクアウトエリアを切り分ける事により、飲食に伴う感染拡大のリスクを少なくした。
- ②当日は、地元中野市産の食材をメインに各店舗で料理の販売を行い、ほぼ完売し大盛況であった。
- ③今回は、長野市、松本市からも飲食店の参加があり、酒蔵も諏訪からの参加があり、県内の広範囲に団体の知名度を広げる事が出来た。
- ④今回も長野電鉄を利用して、県外からも多くの方に参加してもらった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回のイベントでは、多くの方にご来場いただきましたが、会場設営費や広報費に多くの費用がかかるため、今後は他の団体と一緒にイベントを行う事により、経費を削減して活動を行っていく。また、大きなイベントを一つ行うのではなく、小さいイベントを定期的に行うことで、新たな客層の取り組みを行い、中野市内や近隣エリアの四季折々の特徴を活かして、より効果的なイベントを行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【会場全体の様子】

【目標・ねらい】

- ①感染症対策を構築したイベント
- ②地元の魅力ある商品の提案
- ③団体の知名度の向上
- ④市外への魅力の発信

※自己評価 【 A 】

【理由】

新型コロナウイルスの感染が収まらない中で、多くの方に中野市に来て頂き、私たちの魅力を発信する事が出来て、非常に良いイベントになりました。